



2018年6月25日

報道関係者各位

慶應義塾大学大学院経営管理研究科

**日・中・韓のビジネス・スクール学生が日本に集い、企業分析を行う
アジアビジネス・フィールドスタディ開催（7/7～7/14）
「サービス産業の生産性～日本のおもてなしは儲かるのか」**

慶應義塾大学大学院経営管理研究科（以下 KBS）では、2012年から修士課程授業科目の一つとしてアジアビジネス・フィールドスタディ（CKJプログラム）を開講しています。このプログラムは中国、韓国のビジネス・スクール学生と KBS の学生が、開催国の企業等を訪問し、経営者と議論を行い、テーマにもとづいた企業分析、課題発見、提言を行うことを目的としたフィールドワーク授業です。2018年は日本が開催国となり、「サービス産業の生産性～日本のおもてなしは儲かるのか」をテーマに山中温泉の旅館（石川県加賀市）、輸送、飲食、物流、等企業を分析します。

未来のグローバルビジネス・リーダーを育成する KBS の取り組みをご取材くださいますようお願いいたします。

1. 開催概要

- (1) プログラム名：アジアビジネス・フィールドスタディ（CKJプログラム）
（慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程設置科目）
 - (2) 日時：2018年7月7日（土）午後～14日（土）（8日間）
 - (3) 場所：慶應義塾大学大学院経営管理研究科（慶應義塾大学日吉キャンパス協生館内）
 - (4) 訪問先・スケジュール：
 - 7月8日～9日 山中温泉 かよう亭、たわらや、吉祥やまなか（石川県加賀市）
 - 7月10日 東京オリンピック組織委員会事務局（予定）
 - 7月11日 羽田空港（ANAホールディングス株式会社）
 - 7月12日 ロイヤルガーデンカフェ青山（ロイヤルホールディングス株式会社）
スターマイカ株式会社
 - 7月13日 セブンイレブン（株式会社セブン&アイ・ホールディングス）
 - 7月14日 企業分析発表会
- ※なお、今回のプログラムでは、全日程（訪問先への同行取材および最終日の発表会）の取材が可能です。

2. 参加校、人数

- ・清華大学（中国）、韓国科学技術院 KAIST（韓国）、KBS の学生
 - ・学生：各校 12名 合計 36名 教職員：各校 2名 合計 6名
- *参加学生を、6グループに分け、3旅館、3企業をそれぞれ訪問し、企業分析します。

3. プログラムのポイント

2018年のテーマは「おもてなし」。日本のサービス産業の生産性は世界的に見ても最低レベルにあるというデータがある一方で、日本のサービス、おもてなしは世界一とも言われます。「おもてなし」は儲からないのか。日本のサービス産業の問題に迫るのが今回の 이슈です。

とりわけ、おもてなしが凝縮された、日本の地方の温泉地である山中温泉(石川県)への訪問がプログラムのハイライトとなります。現地では、特色のある3旅館に宿泊し、旅館の社長・加賀市副市長・観光協会理事長などと議論を行います。また、地域の伝統的な文化、歴史、コミュニティといった背景を知り、観光業とは地域全体で行う、社会、文化、歴史を背景としたサービス産業である、ということを感じ、この観点から、山中温泉の強み、現状、問題点、将来の可能性について学生たちが提案を行います。これは地方創生のひとつのモデルケースにもなり得ます。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、産業部、各社金沢支局等に送信しております。

【本リリースのお問い合わせ先】

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授 小幡 績

Email : seki@kbs.keio.ac.jp

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 広報担当 (森口)

TEL : 045-564-2441 Email : kym-kbs@adst.keio.ac.jp

【本資料の配信元】

慶應義塾広報室 (並木)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/ja/>